

2011509

絵本学会 NEWS No.42

発行：絵本学会

発行日：2011年5月9日

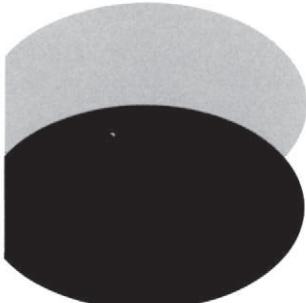
編集：絵本学会広報委員会

絵本学会事務局：〒567-8578 茨木市宿久庄2-19-5

梅花女子大学児童文学科 香曾我部秀幸研究室内

E-mail:ehon-g@baika.ac.jp

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~ehon/index.html>



絵本学会

東日本大震災にあたってお見舞いと思うこと

2010年度絵本フォーラム報告

身近な体験から生まれる絵本

絵本研究会のお知らせ

長野ヒデ子さんに聞く

事務局からのお知らせ

歌と保育と絵本 新沢としひこ

お知らせ－絵本関連展覧会など

第14回絵本学会大会のご案内

東日本大震災にあたってお見舞いと思うこと

絵本学会会長 中川素子

世界を震撼させたアメリカ同時多発テロ(2004.9.11)の映像が流れた時、私たちの世界をみつめる目や「表現すること」についての考えが変わったのは、まだ記憶に新しいことです。でも今回の東日本大震災(2011.3.11)によって、私たちはそれ以上の衝撃を与えられ、誰もが「生きること」を搖さぶられています。

東日本大震災、それに続く余震のおさまらない状況の中で、会員の皆様はどのようにお過ごしでしょうか。絵本学会には、東北6県と新潟県、長野県、茨城県、千葉県で54名の会員がいらっしゃいます。また、東京都や神奈川県の一時帰宅困難者や計画停電などを体験された方も含めると、本当にたくさんの方がご苦労なさったことと思います。また、この1月に山形大学で開催されたフォーラムには、秋田や仙台などから参加してくださった一般の方もいらっしゃったときいております。皆様、お家は大丈夫でしたでしょうか。体調を崩されてはいないでしょうか。皆様の安否を心より心配しております。

私自身も当日は帰宅できず、またその後も避難しておりましたので、学会として皆様の安否の確認がでてなく申し訳ありません。遅ればせながら4月16日に開催された理事会で、地震被害にあられた方に対する学会の方針を決定いたしました。ご自宅が全壊、半壊された方は2011年度の学会費の免除となりますので、事務局にお申し出ください。また、ご本人でなくとも会員の被害状況をご存知の方がいらっしゃいましたら、お知らせいただければと思います。ご苦労なさった全ての皆様にお見舞い申し上げます。

図書館などの被害も報じられていますが、一方で、地震から4日めくらいでしたか、かなり早い段階で絵本の読み聞かせボランティアの活動が報じられていました。また絵本を子どもたちに送る活動も始まったようです。子どもたちに笑顔を戻すことのできる絵本の力を感じますが、ボランティアの方々の息の長い活動に頭が下が

る思いです。

他にも、さまざまな形のボランティア活動が生まれていますが、絵本にも関係づけられる「表現」について考えさせられた2ヶ月間です。高校生たちが授業で作った枕を避難先に送り、その枕の一つ一つに言葉を添えているのをニュースで報じていましたが、その中に「恐竜のようにがんばれ」という言葉があり、その枕をもらった小さな子どもが「うん、恐竜のようにがんばる」と本当にうれしそうに言っていました。その子は、きっと大きな恐竜になることでしょう。高校生だからこそ、書けた言葉でしょうし、子どもだからこそ受け取れた言葉だと思います。言葉が作り出すイメージの力は、絵本に関わる者としてうれしいことです。

他にもテレビやラジオではさまざまな励ましが流れています。ACジャパンの公共広告は、その流れる回数の多さで評判が悪くなりましたが、一つ一つの映像は完成度の高いものです。でも表現の完成度というよりも、作品の出し方のすばらしいCMが私の研究室では話題になっています。それは、押し付けがましくなく静かに心に染み渡っていくサントリーホールディングスの映像です。いくつかのバージョンがありますが、『上を向いて歩こう』か『見上げてごらん夜の星を』の歌に合わせて、和田アキ子や木本雅弘や富司純子やベッキーなどがバトンリレーで歌いつないでいるのです。伊藤テリーや宮沢りえなど歌手でないタレントの歌声が頼りなかつたりするのですが、みんな心をこめて歌っています。ワンフレーズも歌い終わらないうちに、次の人リレーされていき、最後も曲のきりのいいところで終わるのでなく、それよりも1-2秒早く終わって夜の星空にうつるので、「あれ終わっちゃうの。もっとききたいのに」と思うのです。

バトンリレーで絵本ができ、作る人でなく見る人にとって、最後の余韻を完結させる絵本もありかななどと思っています。

2010年度 絵本フォーラム報告 身边な体験から生まれる絵本

企画委員長 杉浦篤子

2010年度は10月の札幌に続いて1月に、山形市にある山形大学で2度目のフォーラムを開きました。講師に「ぼくの博物館」「もりへいったこねこ」などを描かれた、画家であり絵本作家でもあるさいとゆふじ氏をお迎えし「身边な体験から生まれる絵本」をテーマに、講演と絵本制作のワークショップを行いました。

2010年1月30日(日) 定員50名

場所: 山形大学 小白川キャンパス

講演: 10:00~11:30

制作: 12:30~15:30

1月30日は朝から靴が埋まるほど雪が降り、JRに遅れが出たにも関わらず遠くは秋田、仙台からの参加者がありました。参加人数は延べ(子どもも含めて)53名になりました。

さいとゆふじ氏は1949年、山形生まれ、1973年に古典絵画の技術を磨くために渡欧、1988年に帰国。長くウイーンやポーランドのクラコウに住み、そこで内田莉莎子さんと出会ったことが絵本を作るきっかけになり、生活体験や飼うことになった動物たちを題材として絵本を制作しました。たとえばハリネズミ、野生のウサギなどを飼ったときのエピソードを交え楽しい時間を過ごしました。

午後の絵本を作るワークショップでは「日常のおもしろ不思議を絵本にしてみよう」ということで、画用紙を折りたたんで本の形にし、そこにやはり画用紙で、版画を作り絵を描いてゆくことをしました。

材料である画用紙をはじめとして、厚紙、はさみ、糊、筆などの道具が揃えられており、絵の具はアクリル絵の具が用意してありました。面白かったのは文字スタンプで、効果的に使っている人が見られました。参加した小学生たちは題材も面白く、いろいろ考える大人たちを尻目にどんどんと進めていました。時間配分が心配だったにも関わらず、多くの人が完成し、楽しく鑑賞し合いワークショップを終えました。

山形大学の学生さんたちには、準備、当日のお世話などをしていただき感謝しています。おかげ様で短時間でありましたが絵本が完成し、参加してくださった人たちが満足してくださったと思います。



絵本研究会のお知らせ せとうちたいこさんの 絵本作家・長野ヒデ子さんに聞く

日時: 2011年7月10日(日) 会場: 大阪府立中央図書館 大会議室

絵本学会研究委員会では、以下の内容で、絵本研究会を開催します。社会学分野の研究者による絵本作家へのインタビューを通して、新たな観点から絵本研究の方法を探る研究会です。

皆様の参加をお待ちしています。

1. 名称: 公開インタビュー「せとうちたいこさんの絵本作家・長野ヒデ子さんに聞く」

語り手 長野ヒデ子さん

インタビュアー 翼真理子さん

2. プログラム: 第一部 公開インタビュー
第二部 参加者による討論会

(課題図書 5書『せとうちたいこさん デパートいきタイ』『おかあさんがおかあさんになった日』『おとうさんがおとうさんになった日』『ひらがなにっき』『すっすっはっはっ こ・きゅ・う』)

3. 日時: 2011年7月10日(日) 午後1時~3時45分

4. 会場: 大阪府立中央図書館 大会議室

5. 参加費: 会員・学生(大学院生を含む) 無料 一般 1,000円

6. 定員: 70名(申し込み順)

7. 申し込み方法: 往復はがきの往信面に①~④の該当項目、返信面に宛名としてご自身の住所・氏名をご記入の上、下記宛に送付
氏名(会員・非会員の別を明記、学生は学校名を明記)

連絡先(住所+メールアドレス、電話番号など)

参加プログラム(「第一部のみ」、「第一部+第二部」)

第二部に参加の場合は、ご自身の「研究領域」あるいは「所属」「興味関心」をご記入の上、以下の予定テーマについて、関心のある項目を明記

予定テーマ「読者論および読者支援論」「絵本表現論」「学際的研究法(心理学・社会学など)」

8. 葉書送付先: 〒567-8578 茨木市宿久庄2-19-5

梅花女子大学児童文学科 香曾我部秀幸研究室内絵本学会事務局

9. 締切: 2011年6月20日(月)

10. 問い合わせ先: 絵本学会事務局 ehon-g@baika.ac.jp

(会場および問い合わせ先への電話でのお問い合わせはご遠慮ください)

事務局からのお知らせ

第4回 絵本学会理事会 議事録

日時: 2011年4月16日(土) 13:30-16:30

会場: 日本女子大学 新泉館4階 児童学科会議室

出席者: 中川素子(会長)、香曾我部秀幸(事務局長)、石井光恵、今井良朗、今田由香、大橋眞由美、杉浦篤子、永田桂子、長野ヒデ子、藤本朝巳、ヴェルナー・シャウマン(14回大会実行委員長)

議長: 中川会長

○報告事項

1. 会長挨拶 中川会長より東日本大震災で被害にあわれた方々へ、追悼とお見舞いの辞が示された。

2. 昨年度第4回理事会議事録の確認

3. 第14回絵本学会大会の準備について シャウマン大会実行委員長より報告。

・大会の準備がほぼ整い、プログラム、チラシおよびポスター案が示された。

・大会案内は、NEWSの発行に合わせて、5月9日に事務局より発送する。

・研究発表・作品発表の座長を確定した。

・紙芝居文化推進協議会および紙芝居文化の会に、大会後援を依頼することが確認された。

4. 各委員会報告

①企画委員会

・2010年度絵本フォーラム(1月30日於山形大学)の報告。

さいとゆふじ氏講演会には参加者26名、ワークショップにはこども7名の参加者があった。

・2011年度絵本フォーラムは、4月23日(土)9時半より、日本児童教育専門学校(高田馬場)にて開催予定。テーマは「手づくり絵本のススメ」、講師は、つちやゆみ氏(絵本学会会員)。

現在35名の参加申し込みがある。

②紀要編集委員会

・論文3篇、研究ノート1篇を採択決定。他に絵本出版目録1篇で、5月中旬ごろ刊行予定。

・執筆要項の改定について、今後委員会にて検討する。

③機関誌編集委員会

・審議事項へ。

④研究委員会

・公開インタビュー「せとうちたいこさんの絵本作家・長野ヒデ子さんに聞く」(7月10日(日)於大阪府立中央図書館)の準備報告があった。

・変更事項: 第2部のグループワークは3室に分かれず、1か所、参加者全員で行う。

・(財)大阪国際児童文学館、JBBY、大阪府立大学地域連携研究機構女性学研究センター等の後援を得た。

⑤広報委員会

・次号は5月9日発送予定。各委員会からの原稿締め切りは4月23日。

- ・学会HPに「研究」に関するページを設置することを検討中。
- ・学生によるインタビューは、絵本作家や研究者だけでなく、児童書や絵本を所蔵している図書館等、インタビューの対象の幅を広げて継続する。学生会員が増える機会にもなる。

○審議事項

1. 会員の入退会の承認(敬称略)

新入会員: 森慶子、廣瀬暁子、中川理恵子、菊地知子、内藤一志、古谷僚子、吉川聰子、長野麻子、永井靖子、陶山恵、細田八千代
退会者: 亀田邦子、伊藤芳子、諸岡弘、伊藤順子、高島信子、森久保仙太郎、井澤康子

3年間会費未納退会者: 安野光雅、市川ゆかり、大月ちとせ、嶽里永子、萩原敏行、牧田優子

2. 第14回絵本学会大会定期総会議案について(事務局)

・次回総会にて報告する2010年度活動報告案、2010年度決算案、2011年度活動計画書案、2011年度予算案を確認し、審議された。各委員会の前年度の状況を踏まえ、今年度予算を検討した。

3. 『絵本ブックエンド 2011』について(機関誌編集委員会)

・昨年度の販売総冊数が1,228冊、販売配当金額が368,400円に上ることが報告された。

・朔北社との契約を更新し、引き続き制作・販売を依頼することが決定した。

・毎回特集を組むことは機関誌編集委員会の負担が過大であるが、2010年度版の販売冊数が大幅に伸びたことを積極評価し、従来通りアニュアルレポートを基本に置きつつ、特集を組み学会機関誌の特性を活かしながら、一般にアピールできる誌面づくりを検討する。
・編集実務はすべて出版社側が行い、委員会は専ら企画(テーマ設定、記事内容、執筆者選定等)および原稿の取りまとめに携わることを担当する。

4. その他

①次回大会開催地について

・長野理事より、熊本県山鹿市の「風吹きカラス」の読書活動グループの協力を得て、山鹿市の有名な「八千代座」(重要文化財)で2012年度絵本学会大会を開くことが提案された。

・次回理事会において、この「風吹きカラス」の皆さんから「八千代座」等の話を聞くことになった。

②学生会員の会費について

・年会費2,000円に変更することを審議、決定し、次回総会にて提案することとなった。

(入会金は2,000円で変わらず)

③東日本大震災に関して、会員への配慮・支援について

・NEWS次号1面およびHPに、被災地の方々へ向けて、会長からのメッセージを掲載する。

・家屋が全壊・半壊された会員は、ご本人の申し出により、今年度会費を全額免除する。



歌と保育と絵本

新沢としひこ

5

僕は「シンガーソングライター」という肩書きで、ずっと仕事をしている。しかし世の中でシンガーソングライターといわれて思い描くイメージとは、すいぶんかけ離れているように思う。いわゆる巷で流れているポップスなどがメインでは無いからだ。子どもたちが歌うような歌を数多く作っているので、童謡作家などと呼ぶ方が合っているのかも知れない。けれど、作詞も作曲もし、それでステージでは演奏もして歌ってもいるので、その活動自体はシンガーソングライターなのだった。その分かりにくい肩書きによって、正しく理解されなかつたりすることもあるが、自分としてはあまり他に無い職業かもしれない、と意外と気に入っている。

もう一つの肩書きに「元保育者」というものがある。僕は大学を卒業してから豊島区の私立保育園に勤めていた。その後、横浜市にある幼児教室の先生をしていたのだった。

この二つの肩書きによって、いつからか「絵本の文章を書いてください」という依頼が来るようになったのだった。

僕は絵本作家が自分の本業とは思っていないのだが、その依頼は非常に嬉しく話がくればほとんど断ったことがなく、何でも引き受けけて書かせていただいている。しかし、それは「どうぞ、自由に書いてください」というようなことはほとんど無い。

「新沢さんは保育経験がおありなので、やはり現場の子どもたちを描いたものを書いてください」「子どもたちの園での生活を描いたものを是非お願いします」「月刊絵本の四月号なので、おともだちっていいな、みたいな内容を」「月刊絵本の三月号なので、園での一年を振り返るような内容を」というような、リクエストが必ずついて回る。

依頼がいただけるだけありがたいことなので、何でも引き受け

てしまうが、そうか、なるほど、業界における僕のニーズというの、そういうものなんだな?と、よく思い知らされる。

園での生活に、お話を限ると、非常に制約が多く、ありきたりでつまらない話になってしまいがちだ。その中で、だからこそ面白いものを作っていくという、ある意味チャレンジングな創作を楽しませていただいているのかもしれない。

生まれて初めて絵本の文章を書いたのは、岩崎書店で25年くらい前に作った「どれみふあえんたちつてとっこシリーズ」の5冊で、これは絵の今井弓子さんが園を舞台にしたものを作りたいということで、お話を書かせていただいた。園の生活といつても、かなり想像力豊かな、現実とは離れているファンタジックな作品で、今読み返すと、すいぶん頑張ったな、という感じ。

さまざまなものとみんなが結婚をしたいと言い出して結婚式ごっこをする「けっこんしようよ」は、自分では特に気に入っている。ぬいぐるみと結婚したり、図鑑と結婚したり、男の子同士で結婚したり、ある子は結婚しない宣言をして「結婚式」ではなく「結婚しない式」をしたりする。幼児が読むものとしては、主張がつめこまれすぎだったかも知れないが、そのくらい描いてみたかったのだ。昔の作品で、今は絶版になって手に入らないと思うので、ちょっと残念。

園での生活を書いたものではないのだけれど、僕が実際に出会った子どもをモデルにした作品が童心社「しんちゃんのはなび」(絵・あべ弘士)。これは、僕が金沢に一人で仕事に行ったときに、たまたま花火大会があり、そこで出会った花火に夢中になる男の子のことをお話にした。生まれて初めて体験する花火大会に、彼は興奮して、その興奮具合にお母さんはうんざりしていた。その対比があまりに面白く、ああ、子どもってこうだよな、大人ってこうだよな、家族ってこうだよな、とよくステージで話していた。そのステージトークが好評で、「絵本にしましょう」という話になったのだった。

この作品も、とても気に入っているけれど、もう時間が経って、入手が困難になっている。

園での生活を描いたもので、代表的なものはひかりのくにの「ともだちいっぱい」「うれしいがいっぱい」(絵・大島妙子)のシリーズ。最初の「ともだちいっぱい」は月刊絵本として作られたものだが、好評で単行本化され、その後続編の「うれしいがいっぱい」も作られた。子どもにとって、ともだちとは何だろう?という話で、登場人物の子どもたちが、次々と「自分は○○とともにだち」と宣言して、「ともだちのともだちはともだち」と、みんなともだちになっていくというシンプルな話。





『しんちゃんのはなび』 新沢としひこ作 あべ弘士絵
童心社 1998



『ともだちいっぱい』 新沢としひこ作 大島妙子絵
ひかりのくに 2002

大島さんの絵が、本当にかわいくて、説教臭さがないので、みんなに愛される作品になったと思う。

続編の「うれしいがいっぱい」ではみんながうれしいことで、自分ができることって何だろう?と登場人物たちが考えていく話。これも、大島さんの絵にとても助けられている。

講談社の「世界中のこどもたちが 103」は、ちょっと変わり種の絵本で僕が作詞した「世界中のこどもたちが」(作曲・中川ひろたか)に合わせて、103人の絵本作家たちが絵を描いてくれている。世界中のこどもたちの幸せを願う、みんなの気持ちを一つの絵本にするという、ムーブメント絵本。これは、まずそのような「絵本作家たちが集まって、何か平和のための運動をやろう」という企画が先にあり、そのためにどんなテキストが、と話し合われて、「世界中のこどもたちが」を選んでいただいた。僕が歌を仕事にしている関係上、「歌の絵本」という形で、いろいろ関わらせていただいて、それは他の人には無い、面白い経験だな、と思っている。

歌の絵本と言えば「にじ」「だれかがほしをみていた」「ともだちになるために」という歌をあべ弘士さんの絵でアスク・ミュージックから発表している。スケッチブック絵本シリーズと題して、スケッチブックのような形の絵本にしている。テキストは歌の歌詞をそのまま使っていて、お話絵本ではないのだが、画家のあべ弘士さんによって、歌詞の流れに沿いながら、まったく別のドラマを展開するという手法がとられ、非常に広がりを持ったすばらしい作品になっている。

最初に絵をもらった時は、これは難解なのではないか?と思ったのだが、それは僕の杞憂で、子どもたちは理屈ではなく、あべ弘士さんの描く世界をすんなり受け入れてくれた。これは新しい絵本の世界を開いたのではないか、と僕は考えている。

このように、他の絵本作家さんたちとはちょっと違うアプローチで絵本をいろいろ作させてもらっていて、それはやや門外漢であるからこそかも知れないと思っている。音楽を仕事にしていたからこそ、たくさんの一流の画家さんたちと出会うことが出来た。最初から絵本の文章を書くことを専門にしようと目指していたら、こうはならなかっただろう。人生というのは面白いものだな、と思う。

(シンガーソングライター・元保育者)



『だれかがほしをみていた』 新沢としひこ作 あべ弘士絵
アスク・ミュージック 1997

お知らせ

○絵本学会事務局からのお知らせとお願い

このたびの東日本大震災により、ご自宅が全壊、半壊などの大きな被害にあわれた会員につきまして、2011年度会費を免除することでお見舞いの意を表すこととなりました。

事務局からは、本号と共に2011年度の会費請求文書をお届けしておりますが、発送の前後に関わらず、会員ご本人あるいは被災状況をご存知の会員からのご連絡がありましたら、会費を免除させていただきます。また研究資料が散逸された場合には、その補充など、学会としてお手伝いできることがございましたら、ぜひご連絡ください。

○絵本関係展覧会情報

●安曇野ちひろ美術館

〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原

0261-62-0772, 0261-62-0774(Fax)

<http://www.chihiro.jp/azumino/>

【展示】ちひろの旅物語

11.5.13(金) - 7.12(火)

【企画展】茂田井武の世界旅行

11.5.13(金) - 7.12(火)

【展示】〈出版記念〉ちひろ・夏の画集

11.7.15(金) - 9.13(火)

【企画展】ちひろ美術館コレクション ようこそ！絵本水族館

11.7.15(金) - 9.13(火)

●ちひろ美術館・東京

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2

03-3995-0612, 03-3995-0680(Fax)

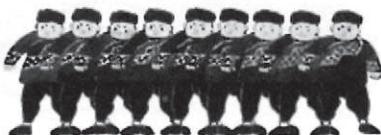
<http://www.chihiro.jp/tokyo/>

【展示】—おめでとう30周年！—ちひろと黒柳徹子『怒ざわのトップちゃん』展

11.3.1(火) - 5.29(日)

【企画展】ちひろ美術館コレクション 国際アンデルセン賞受賞画家展

11.3.1(火) - 5.29(日)



●世田谷文学館

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山1-10-10

03-5374-9111, 03-5374-9120(Fax)

<http://www.setabun.or.jp/>

【企画展】世界中で愛されるリンドグレーンの絵本展

11.4.16(土) - 6.26(日)



●武蔵野美術大学 美術館・図書館

〒187-8505 東京都小平市小川町1-736

042-342-6004, 042-342-6451(Fax)

<http://www.musabi.ac.jp/library/>

【展示】博物図譜とデジタルアーカイブⅢ

11.4.11(月) - 6.19(日)

●射水市大島絵本館

〒939-0283 富山県射水市鳥取50

0766-52-6780, 0766-52-6777(Fax)

<http://www.ehonkan.or.jp/>

【展示】西村繁男 絵本原画展

11.4.1(金) - 5.29(日)

【展示】アンパンマン絵本原画展

10.7.31(土) - 9.29(水)

●ワイルドスミス絵本美術館

〒413-0235 静岡県伊東市大室高原9-101

0557-51-7330, 0557-51-7331(FAX)

<http://www.metm.co.jp/>

【企画展】ワイルドスミス生誕80年 特別企画

ワイルドスミスの青い鳥

10.11.11 -

●安曇野絵本館

〒399-8301 長野県安曇野市穂高有明2186-117

0263-83-6173(Tel, Fax)

<http://www.ehonkan.net/>

【企画展】松成真理子絵本原画展

11.3.2(水) - 6.27(月)

沢田としき絵本原画展

11.6.3(金) - 7.18(月)

●安野光雅美術館

〒 699-5605 津和野町後田イ 60-1
0856-72-4155, 0856-72-4157(Fax)
<http://www.town.tsuwano.lg.jp/anbi/anbi.html>
【企画展】旅の絵本Ⅱ(イタリアから 15点)
11.3.11(金) – 6.8(水)
【企画展】子どもの季節Ⅰ
11.3.11(金) – 9.7(水)
【企画展】たのしく考える絵本Ⅰ
11.3.11(金) – 6.8(水)

●祈りの丘絵本美術館(童話館グループ)

〒 850-0391 長崎県長崎市南山手町 2-10
095-828-0716
<http://www.douwakan.co.jp/museum>
【企画展】ヴィクターとクリスタベル～そっと恋して
11.2.22(火) – 5.22(日)
【常設展】大道あやコレクション 生きとし生けるものへの賛歌

●軽井沢 絵本の森美術館

〒 389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町風越公園 182
0267-48-3340, 0267-48-2006(Fax)
<http://www.museen.org/ehon/index2.html>
【企画展】グリム童話の絵本展～ドイツをめぐるメルヘンの旅～
11.3.2(水) – 6.13(月)
えほん動物園 ～あべ弘士の描く世界～
11.6.17(金) – 10.3(月)



●刈谷市美術館

〒 448-0852 愛知県刈谷市住吉町 4-5
0566-23-1636, 0566-26-0511(Fax)
<http://www.city.kariya.lg.jp/museum/index.html>
【展示】魅惑のモダニスト 跡谷虹児展
11.4.16(土) – 5.29(日)

●木城えほんの郷

〒 884-0104 宮崎県児湯郡木城町大字石河内 475
0983-39-1141, 0983-39-1180(Fax)
<http://service.kijo.jp/~ehon/>
【展示】木城えほんの郷のたからもの常設コレクション展
11.6.11(土) – 7.10(日)
【展示】神様の階段 里山 今森光彦写真展
11.7.15(金) – 8.31(水)

●国立国会図書館 国際子ども図書館

〒 110-0007 東京都台東区上野公園 12-49
03-3827-2053(代表), 03-3827-2069(音声案内) 03-3827-2043(Fax)
<http://www.kodomo.go.jp/index.jsp>
【企画展】日本の子どもの文学－国際子ども図書館所蔵資料で見る歩み
11.2.19(土) –

●絵本美術館&コテージ 森のおうち

〒 399-8301 長野県安曇野市穂高有明 2215-9
0263-83-5670, 0263-83-5885(Fax)
<http://www.morinoouchi.com/index.html>
【企画展】動物と人間(ひと)のファンタジー絵本原画展
11.5.20(金) – 7.12(火)
【企画展】いせひでこ 絵本原画展
11.7.15(金) – 9.13(火)

●飛騨絵本美術館 ポレポレハウス

〒 506-0205 岐阜県高山市清見町夏厩 713-23
0577-67-3347(Tel, Fax)
<http://www.porepore-house.com/>
【常設展】田島征三 原画常設展示 さよならぼろ
11.3.15(火) – 6.20(月)
【企画展】のはらののこ「春のメルヘン」展
11.4.1(金) – 5.31(火)
【企画展】田島征三「学校はからっぽにならない」原画展
11.6.1(水) – 6.30(木)
【企画展】油野誠一「双子の星」原画展(宮沢賢治作)
11.7.1(金) – 9.30(金)

●小さな絵本美術館 ハケ岳館

〒 391-0081 長野県諏訪郡原村原山
0266-75-3450, 0266-75-3460(Fax)
<http://ba-ba.net/cms>
【企画展】生誕 100年記念
フェリックス・ホフマン展 –前期–
11.4.1(金) – 5.29(日)

●薮内正幸美術館

〒 408-0316 山梨県北杜市白州町鳥原 2913-71
0551-35-0088, 0551-35-0089(Fax)
<http://yabuuchi-art.main.jp/>
【企画展】『しりとり動物園』展
11.3.19(土) – 7.12(火)